

20

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
アート・コミュニケーショングループ

2021記録集

21



丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1 (JR丸亀駅前)
TEL:0877-24-7755 www.mimoca.org



ご挨拶

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA)は、開館30周年を迎える2021年度に「アート・コミュニケーショングループ」を設立しました。

開館以来、継続的に実施してきた教育普及や地域社会及び市民生活に貢献する文化活動を強化し、より多くの人に愛され、親しまれる美術館を目指すためにスタートしました。

猪熊弦一郎が大切にしていた子どもへの美術教育を軸に、芸術の場においては身体や性、職業や肩書き、国籍の垣根を超えた新たな交流を生み出し、個々の感性を育み、豊かな文化を創り出すこと、それがこのグループの目指すところです。

この記録集は、2021年4月から2022年3月までの1年間に、アート・コミュニケーショングループが企画・開催したさまざまな事業の記録です。生まれたばかりのグループではありますが、長年MIMOCAを愛し、応援してくださった方々のお力添えにより、新しい出会いと表現に恵まれた1年となりました。この記録集を通して、私たちと参加者が体験したことをお伝えできれば幸いです。

最後に、私たちの企画にご参加いただいた皆さま、ご尽力いただいたアーティスト、職人、講師の方々、地元企業、関係各位に改めてお礼申し上げます。

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



こどもももか

「子どもたちの豊かな感性と創造力を伸ばし育む」
 という猪熊弦一郎の遺志を受け継ぎ、
 年間を通して子ども向けプログラムを実施します

企画展

「まみえる 千変万化な顔たち」関連ワークショップ

MIMOCAのわたしたち

企画展出品作家で、
現代アーティスト・漫画家の横山裕一さんと一緒に、
オリジナルキャラクターのお面作りに挑戦



『顔』とは何か？
それぞれ捉え方が
違って、
それぞれ面白い

横山裕一

1967年、宮崎県に生まれる。1990年、武蔵野美術大学卒業。絵画制作を行っていたが、2000年より時間が表現できる方法として漫画による表現に取り組む。主な著書に『ニュー・土木』（イースト・プレス、2004年）、『トラベル』（イースト・プレス、2006年）、『PLAZA』（888ブックス、2019年）などがあり、欧米での翻訳出版も多数。



左官職人になろう！

生活する上で欠かせない“壁”。
左官職人さんに伝統技術を教えてもらいながら、
壁作りを体験



みんな、
左官の見習い職人
職人技を見て、真似で、
独自のコテ使いで
自分だけの
”壁”が完成！

■ 香川県左官業組合連合会

香川県の左官工業団体として、定期総会や左官勉強会など左官技術向上や情報を共有。また、左官について知っていただくワークショップを主催するなど、日本の伝統文化である「塗り壁」を未来に受け継いでいく役割も担っている。

■ 四国化成工業株式会社

1947年に丸亀市で誕生、2022年10月に創業75周年を迎える。現在では、世界を舞台に化学品と建材の2つの事業を展開。「独創力で、“一歩先行く提案”型企業へ」を掲げ、独創的なアイデアで社会課題を解決し、世界をリードする企業となることを目指す。



布で絵をつくる

布も立派な絵の具！
猪熊弦一郎自らが作った作品をお手本にして、
フェルトで作品制作



美術館で作品を制作する猪熊弦一郎



○、△、□と
自由に切り貼りして、
子どもアーティストによる
抽象絵画の出来上がり



瀬戸フィルハーモニー交響楽団 音楽ワークショップ

カラダで表現!

プロオーケストラ・瀬戸フィルハーモニー交響楽団と一緒に
さまざまな音に出会い、
また自ら音を生み出し、奏でる楽しさを体験

ボディー
パーカッションで
音を生み出そう

7月



■ 瀬戸フィルハーモニー交響楽団

定期演奏会をはじめ自治体、企業などへの出張演奏や県内外の文化団体との共演など多彩な演奏活動を展開している。特に小・中学校を訪問しての音楽教室で音楽の楽しさを体感できる企画を盛り込み、音楽人口の拡大に取り組む。





10月 音描く (おんがく)

生演奏を聴いて、
頭に浮かんだ
イメージをスケッチ



11月 トランペットを
作って演奏



瀬戸フィルハーモニー交響楽団 業務執行理事・宮崎節二さん

色の可能性が無限にあるように、音の可能性も無限にあります。
その時の心情あるいは生活感、その地域によって、あるいは季節感によって感じることを、
何かで表現していく。表現の手段をある程度、トレーニングして、テクニックを磨いていくと、
自分の心の中のものを正確に伝えることが出来ます。
これは子どもの時に体験すべきことで、いずれ何かの時に花咲きます。

工学博士と橋をつくらう！

美しい形は強い！

香川大学の松島博士に美しく耐力のある建築について教えてもらいながら、
輪ゴムと割り箸だけで耐力のある橋作りに挑戦



ペットボトル
何本耐えられるかな？
橋づくりを通して
育まれる「協調性」と
「競争心」



んまつーポスのカラダ表現！ ワークショップ

ミュージアムホールを中心に、美術館を運動場にして、
んまつーポスとともに未知の表現宇宙へ挑戦！



自分で衣装を作り、
振り付けを創作
美術館の中を駆け抜け、
飛び、踊る！

■ んまつーポス

2006年に結成、逆さから物事を考えることで新たな価値を創造するダンスカンパニー。これまでに15カ国40都市（エストニア、ルーマニア、香港等）で作品を招聘・上演。国内では、アート空間に「体育」（からだを育む思想）を展示している。宮崎市に「公立ではない公共」のコンテンポラリーダンス専用劇場（CandY）を設立（2019.3）。



美術館で
汗をかこう！



ゾンビで
ワンダフル!



企画展「丸亀での現在」KOSUGE1-16
《カウンタフォイル・リサーチ -ヘッドライトに照らされたクリーチャーたち-》
2021年でのパフォーマンスの様子
実施協力：KOSUGE1-16

んまつーボス 豊福彬文さん

今はマスクで喜怒哀楽が表現しづらい世の中だけど、身体があります。
この時代、身体で自由に表現することが特に大事になってきます。

企画展

「丸亀での現在」関連ワークショップ

ミモカで野良工作!

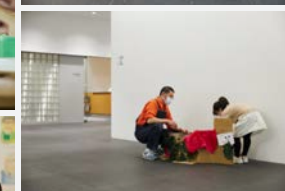
企画展出品作家のKOSUGE1-16の土谷享さんと一緒に、美術館を探検し、誰も気づかないような“余白”を見つけて、隠れ蓑を作る



使用する道具と材料はくじ引き。
限られた資源で工作に挑戦!
時には物々交換。
自分たちの持っている資源で、
足りないものを獲得していく

KOSUGE1-16

車田智志乃と土谷享によるアーティスト・ユニットとして2001年より活動を開始。現在はこれまでのコンセプトを引き継ぎ、土谷が代表として活動する。日常のありふれた環境、現象、人のつながりなどをきっかけに作品を制作し、作品を通して鑑賞者を参加者に変質させ、参加者同士、あるいは作品と参加者の間に「もちつもたれつ」という関係性を構築する。



土谷享さん

決められた場所にテーマも決めて作るだけがアートじゃない。
自分たちが見つけた場所で自由につかったものを展示するというのが一番大切なことなので、
今日やったことの気持ちを大切に、心の中に取っておいてほしいなっています。

みんなでつくろう! 宇宙都市

宇宙に強い関心を抱き、独自の宇宙を描いた猪熊弦一郎。

猪熊のように想像力を駆使して、
段ボールや牛乳パックなど身近にあるもので宇宙都市を創り上げる



宇宙には
どんな世界が
広がっているかな？
謎の生物、建物が
増えていき、
造形スタジオが
宇宙都市に大変身！





カラダで表現！ ノゾエ征爾 演劇ワークショップ

みんなで演劇作品を作ろう！

簡単なテキストをもとにして、15分前後の短い演劇作品を一本作ります。

最後はミュージアムホールで1回きりの本番に挑戦！



配役を考え、台詞を覚え、
自分なりにカラダで表現！
助け合いながら、
一つの舞台をつくり上げる
難しさと達成感を経験

■ノゾエ征爾

脚本家・演出家・俳優。劇団はえぎわ主宰。1999年はえぎわを始動以降、全作品の作・演出を担う。2012年「〇〇トアル風景」で第56回岸田國士戯曲賞受賞。さいたまスーパーアリーナでの公演や小劇場、野外劇、音楽劇と幅広い作品の演出を手掛ける。近年の演出作品に「ぼくの名前はズッキーニ」「物理学者たち」など。





ノゾエ征爾さん

今日の演劇を通して、みんなで一緒にやったことは普段でも通じることがたくさんあると思うのね。上手くいかない友達とのこととか、それでもそれを乗り越えて協力して何か一つのことをやり遂げることはとっても大切なことで、素晴らしいことなんです。

今日の小さな達成感をたまーに思い出して、嫌なことであってもその先に何かあるかもあって、日々エンジョイしてほしいです。



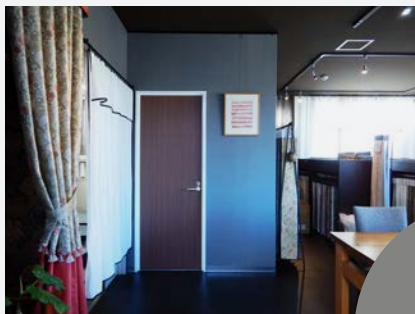
+ MIMOCA

「心の病院」として、人々の明日への活力を与える場所として、
美しいものや表現に出会うことで
新しい交流と価値を見出すプログラムを提供する事業。
人々の暮らしの中にMIMOCAがプラスされていくことを目指します

いのくまさんのスケッチブック アートはバイタミン

第3弾

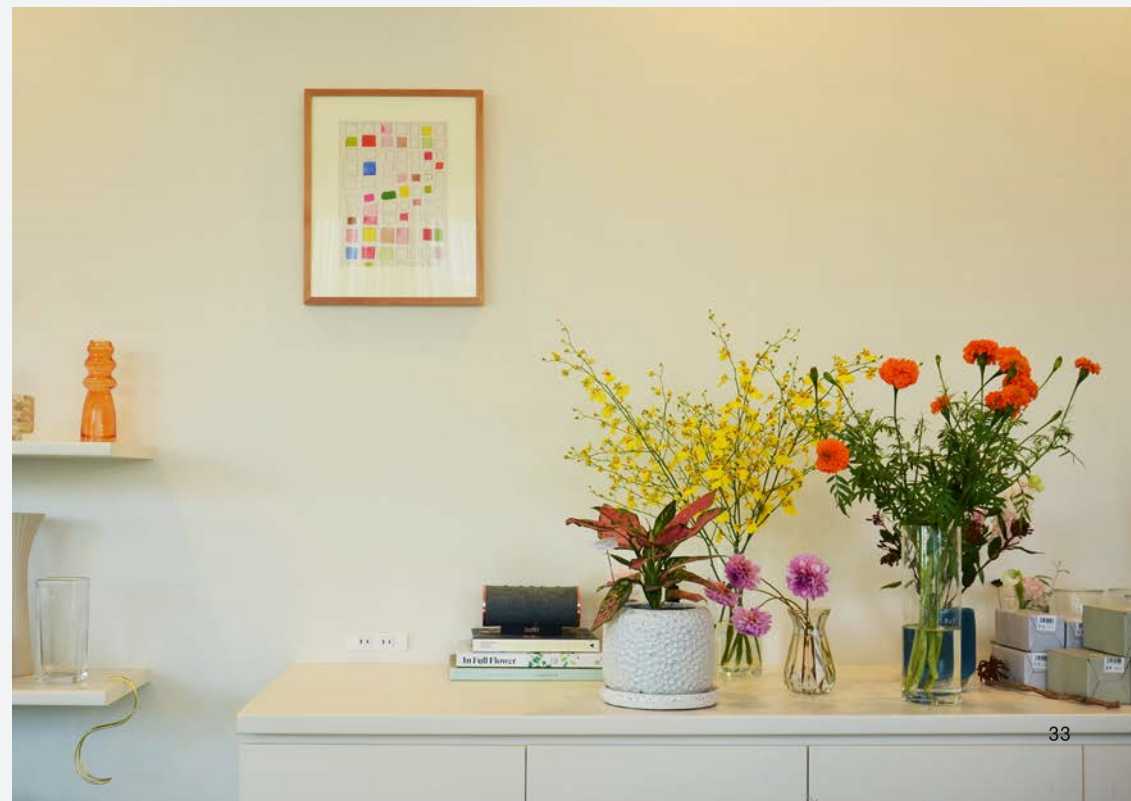
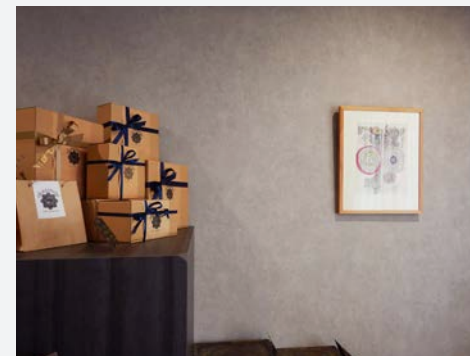
猪熊弦一郎がスケッチブックに描いた作品の複製画を
丸亀市内の商店や飲食店などに展示する企画の第3弾



暮らしの中にある、
猪熊作品

複製画展示風景
左：猪熊弦一郎《題名不明》1975年 店舗：インテリアデザイン
右上：猪熊弦一郎《題名不明》1976年 店舗：富屋珈琲店
右中央：猪熊弦一郎《題名不明》1975年 店舗：okasinoie オカシノイエ
右下：猪熊弦一郎《題名不明》1974年 店舗：fog -Life with nature-

作品は全て©公益財団法人ミモカ美術振興財団



丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 開館30周年記念

NHK かがわ絵顔プロジェクト

コロナ禍という“100年に1度の危機”の現代を生きる人々の想い、
心の声をアートを通じて紡ぎ出すプロジェクト



いま、この時代に
描きたい顔は何か
誰を想い、どんな未来を
描いているか
さまざまな人の心を
見つめる



まちのシュール963 プロデュース MIMOCAマルシェ

地元・香川の
食品や雑貨を販売するお店を集めた、
1日限りの秋のマルシェ

ゲートプラザで
生まれる、
”楽しいもの”との
出会いと
ゆるやかな交流



常識を飛び越えて

私たちが展開する事業は猪熊弦一郎(1902-1993)の残した言葉や想いを基に構築しています。

しかしながら、伝える側がはっと気付かされることが多くありました。

例えば猪熊自身が考案した内容をワークショップにした「布で絵をつくる」では、子ども達に思いっくままにフェルトを切り、キャンパスのうえで踊らせようと提案しました。

猪熊の抽象絵画を追体験してもらうような内容にしました。

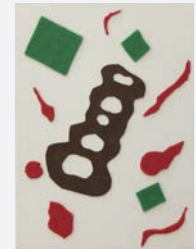
頭で考えてしまうと、どうしても「見えているもの」をそのまま形にしてしまいますが、“常識”という概念をまだ確立していない子どもは、今まで見てきた物、思い出にある人や動物を頭の中で再構築することができるのでしょうか。

私たちが考えもつかないような面白い形が生まれました。

ワークショップを通して、創造することの難しさ、楽しさを私たちが自身が学びました。

写真は、子ども達が使ったフェルトの端切れで制作した私の作品です。ゴミと思われる物にも、美しさ、可愛らしさが存在します。これも猪熊と子ども達が教えてくれたことです。

タイトルは伏せています。何をイメージして作ったか、ぜひ想像してみてください。



丸亀市猪熊弦一郎現代美術館アート・コミュニケーショングループ担当長
奥本 末世

アートから見えるもの

「タンポポを描いて」と言われたら、皆さんはどう描きますか？

タンポポは、地面の中に長い根っこがあります。

子どもたちには花から根っこまで描ける大人に育ててほしい。

これから先、生きていく中で見えないけれど大切なことがたくさんあります。

アートはそのための「想像力」を育みます。

大人の方は、子どもだった時のことを思い出してください。

些細な物事に興味を持ち、新鮮な目で見つめ、探求し“自分なりの見かた”を見つけようとしていたはずで。

アートの世界に正解はありません。

自分だけの常識にとどまらず、自分とは異なるものを受け入れる。

正解のないアートは、多様な価値観を生み出し、違いを価値と認め合います。

異なる他者との共生は、現代を生きる私たちの大きな課題です。

アートは持続可能な社会をつくるための「創造力」を育みます。

アートは誰ももの暮らしにつながっています。

この先行きの見えない時代の中で、私たちは常に“自分なりの答え”を見つけていかなければなりません。

丸亀市産業文化振興課 文化課 主査
(併) 公益財団法人ミモカ美術振興財団 総務グループ行政連携担当長

増田 龍一

◎こどもミモカ

事業名	講師	開催日時	対象	参加者数	協力
企画展「まみえる 千変万化な顔たち」関連ワークショップ MIMOCAのわたしたち	横山裕一	2021/4/10 10:00-14:30	小学3年生～大人	16	
左官職人になろう!	香川県左官業組合連合会 会長 玉木隆好	2021/6/26、6/27 各日10:30-12:00/14:00-15:30	小学生～高校生	51	香川県左官業組合 連合会、四国化成工業 株式会社
布で絵をつくる	MIMOCA職員	2021/7/3、7/25、8/6、8/7、8/8 各日10:30-12:00/14:00-15:30	小学生～高校生	109	
カラダで表現! 瀬戸フィルハーモニー交響楽団 音楽ワークショップ	瀬戸フィルハーモニー交響楽団	2021/7/17、10/2、11/27 各日10:30-12:00/14:00-15:30	小学生～高校生	77	
工学博士と橋をつくろう!	松島学 (香川大学名誉教授 工学博士)	2021/10/9、10/30、11/6、11/28、12/5 各日10:30-12:00/14:00-15:30	小学生～高校生	119	
んまつーポスのカラダ表現!ワークショップ	んまつーポス	2021/10/24、11/13、12/19 各日10:30-12:30	11月は年長のみ、 10月・12月は 小学生～高校生	64	
企画展「丸亀での現在」関連ワークショップ ミモカで野良工作!	KOSUGE1-16	2022/1/23 10:00-16:00	小学生～高校生	13	
みんなでつくろう!宇宙都市	MIMOCA職員	2022/2/12、2/13、3/12、3/13 各日10:30-11:30/13:30-14:30/15:30-16:30	高校生以下	68	
カラダで表現!ノゾエ征爾 演劇ワークショップ	ノゾエ征爾	2022/3/5、3/6	高校生以下	34	
学校来館		2021/4/1～2022/3/31	高校生以下	34団体 1,469人	

※主催は全て丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

◎プラスMIMOCA

事業名	開催日時	場所	主催 / 共催
いのくまさんのスケッチブック アートはバイタミン 第3弾	2021/11/1～2024/3/31	丸亀市内の商店や飲食店など店舗10軒	[主催] 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、 公益財団法人ミモカ美術振興財団
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 開館30周年記念 NHK かがわ絵顔プロジェクト	[展示] 丸亀会場 2021/8/12～15 高松会場 2021/8/7～22 [映像上映] 2021/8/13～15	[丸亀会場] 丸亀市市民交流活動センター「マルタス」、 JR丸亀駅、FACE21、秋寅の館 [高松会場] JR高松駅、高松空港、道の駅源平の里むれ、 NHK高松放送局 [映像上映] 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ゲートプラザ	[主催] NHK高松放送局、 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、 公益財団法人ミモカ美術振興財団 [共催] 丸亀市、 丸亀市市民交流活動センター「マルタス」
まちのシューレ963 プロデュース MIMOCAマルシェ	2021/11/27	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ゲートプラザ	[主催] 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、 公益財団法人ミモカ美術振興財団、 丸亀市文化振興事業協議会

何にでも、今ある目にとどく物でありふれた物に、
もう一度キュアリオシティ (curiosity = 好奇心) の目を開いて、
そして物をもう一度考えて下さい。
手近なものの中に美しさもありますし、
あらゆる秘密が隠されております。*

猪熊弦一郎

編集：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／公益財団法人ミモカ美術振興財団
企画協力：丸亀市産業文化部文化課
デザイン：株式会社アルファ
撮影：福田ジン (p2右下・p10・p12・p18・p19・p20・p21・p26～29)

発行：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／公益財団法人ミモカ美術振興財団
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1
Tel.0877-24-7755
Fax.0877-24-7766
Mail mimoca_info@mimoca.jp
www.mimoca.org